

蘇った紫川人々が集う都市の「顔」に！



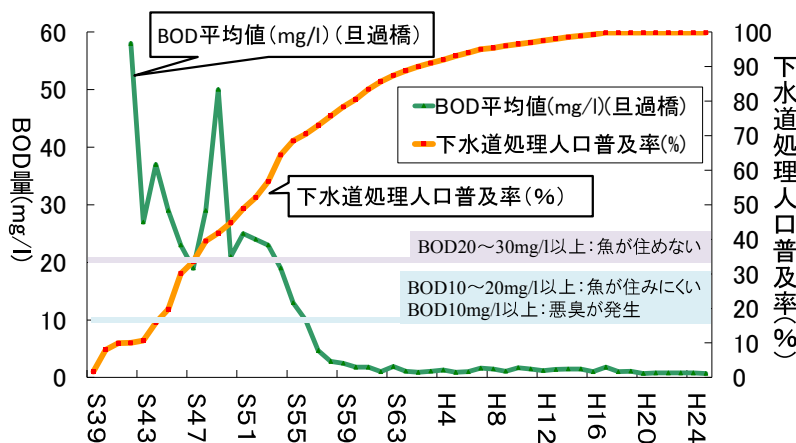
● before

➡➡➡ ● after

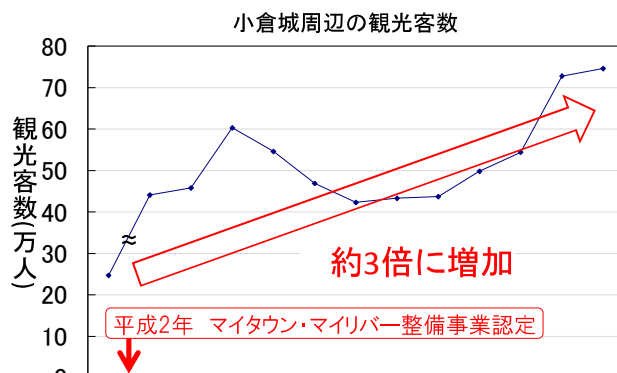


- 紫川の河川改修にあわせ、川を中心とした一体的なまちづくりを推進し、九州の玄関にふさわしい都市の「顔」としての水辺空間を創出、北九州市は、治水安全度を向上させ環境の街へ
- また、紫川は、以前死の川と呼ばれていたが、下水道処理人口普及率の増加もあり、水質は改善。
- 約2,000億円以上の民間開発の誘発や、観光客数が大幅増加と地域が活性化

紫川の水質と下水道処理人口普及率(平成25年度末)



紫川と周辺の整備事業効果

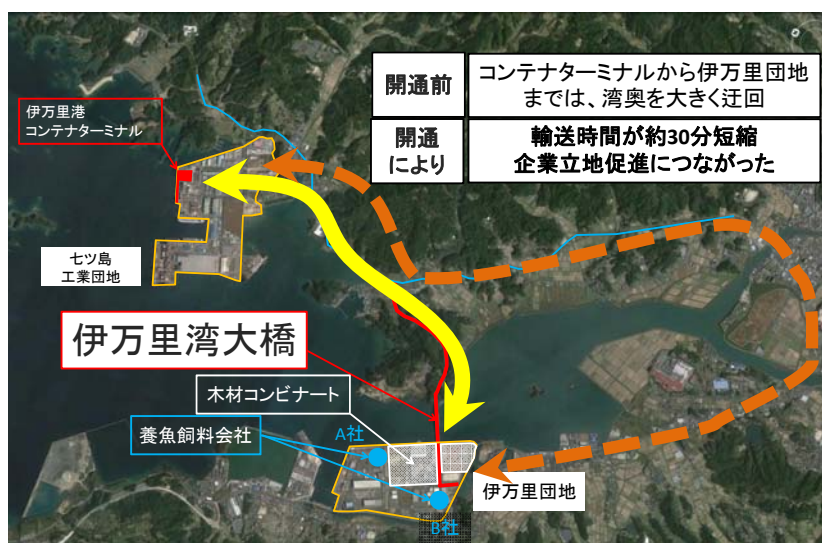


ストック効果

コンテナターミナルと連絡橋が九州の養殖漁業と林業を支える



● before >>> ● after



国際コンテナターミナルの整備により、国際コンテナ航路が開設

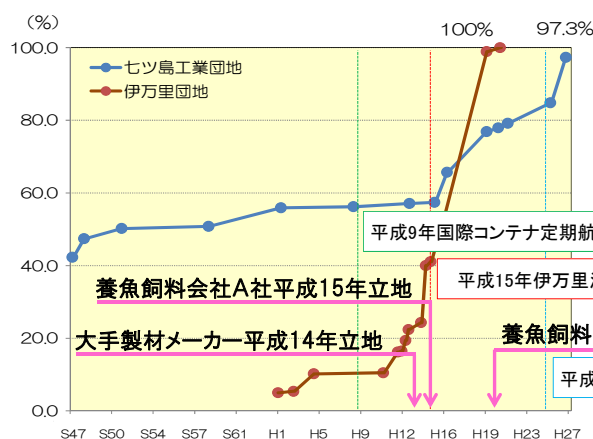
平成15年に伊万里湾大橋が完成。同年、対岸に養魚飼料会社A社が立地

平成16年に養魚飼料の原料の魚粉の輸入量が日本一になるなど、伊万里港は養魚飼料の原料の日本最大級の輸入拠点に

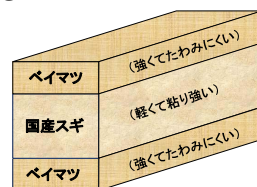
さらに平成20年に養魚飼料会社B社が立地するなど、伊万里港が九州一円の養殖漁業を支えている

また、異樹種集成材を製造する大手製材メーカーの拠点工場を中心に木材コンビナートを形成、九州の林業を支えている

工業用地分譲率の推移



異樹種集成材のイメージ



● 企業立地動向(工業用地分譲率)

伊万里団地	41%	100%	進出企業17社
七ツ島工業団地	57%	97%	進出企業16社
	(平成15年)	(平成26年)	

雇用の増加

養魚飼料会社B社: 約50人
大手製材メーカー: 約170人など

ストリッ
効果

サバの価格が4倍に 出荷戦略を支える西九州自動車道



西九州自動車道(長崎県)

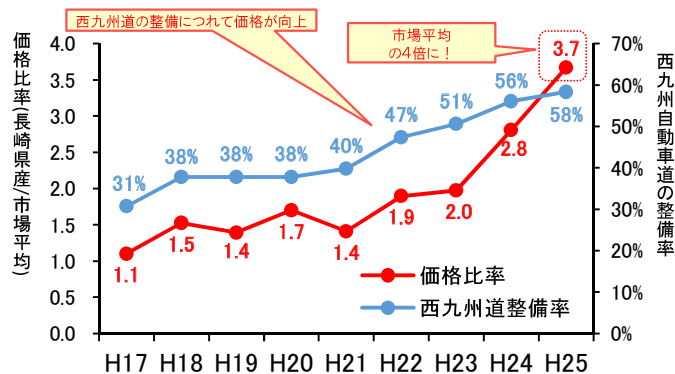
● before >>> ● after



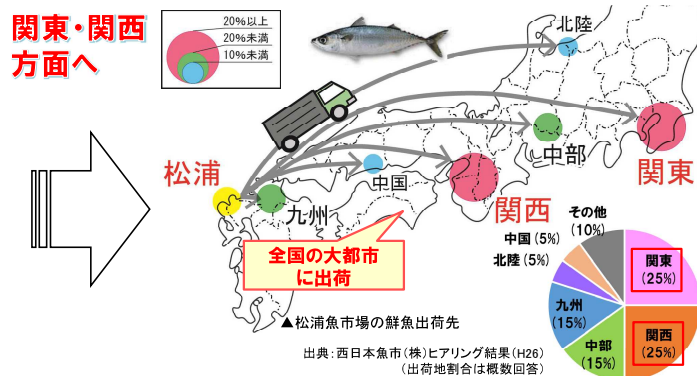
■ 松浦漁港(長崎県松浦市)の「さば」は**全国3位の水揚量**

■ 西九州自動車道の整備につれて、新鮮なサバを安定供給、市場を選択しながら出荷できるようになり**東京卸売り市場での取引価格が向上、漁業就業者の一人当りの生産額が増加**

長崎県産「さば」の東京卸売市場の平均取引価格



■どこの市場が有利か戦略的に出荷

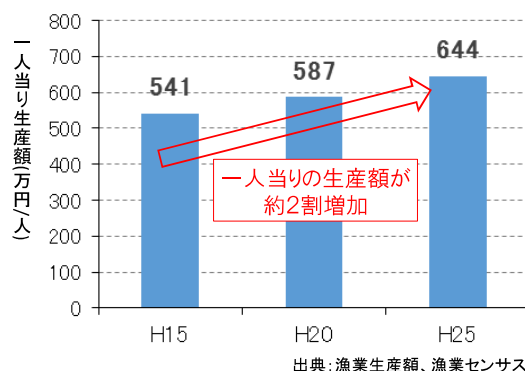


<西日本魚市(株) ヒアリング結果>

・西九州自動車道の整備により時間短縮された分だけ、出荷時間を遅らせることができ、加工時間の確保や出荷量の増加が期待

・短縮時間で他魚港の出荷状況の把握が可能となり、市場での価格低下を防ぎ、安定した価格での取引が可能

長崎県の漁業就業者一人当りの生産額



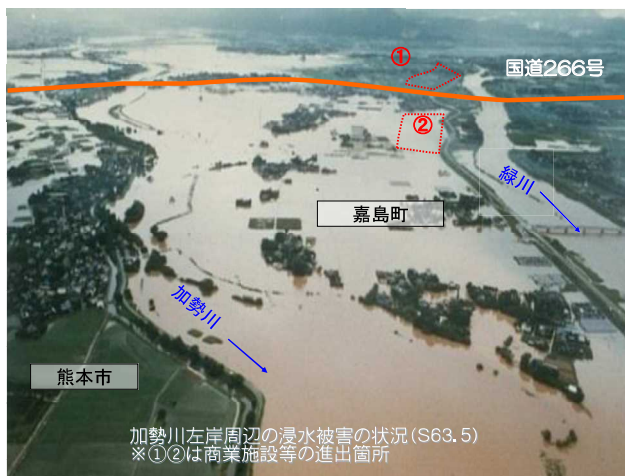
ストック効果

堤防できた！水害リスク減った！ 商工業団地がうまれた！



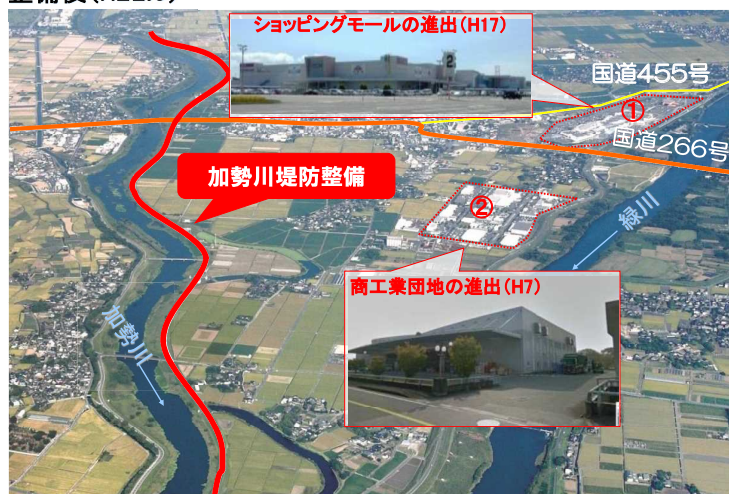
before

整備前の浸水被害の状況(S63.5)



after

整備後(H22.3)



！従来より洪水による浸水被害が頻発していたが、平成11年の堤防完成後、浸水被害は発生していない

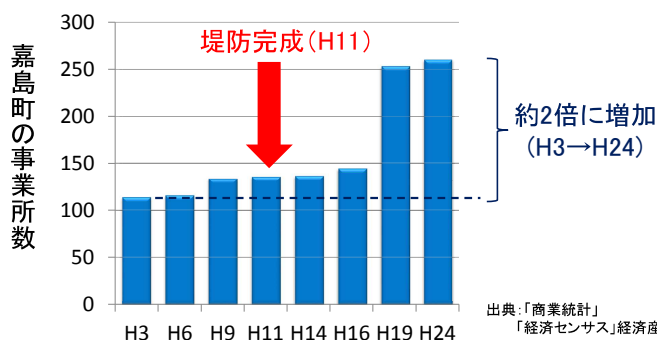
！水害リスクの減少により、ショッピングモールや商工業団地の進出などで商業事業所数が約2倍に増加(H3→H24)、第3次産業従業者が約4倍に増加(H2→H22)など、地域発展に寄与

企業等の声

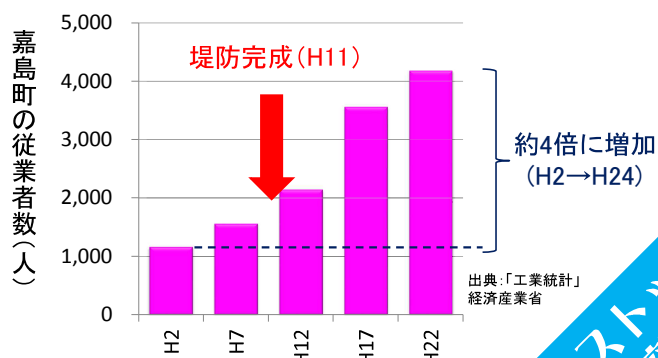
堤防ができたことによって、洪水の心配が少なくなった。企業誘致等町の振興にもつながっており、堤防整備に関して非常に感謝している』（嘉島町長）

『いろいろな場所を探したが、水と緑が豊かであること、さらに堤防ができたことにより洪水の心配が無くなったため、この場所に進出を決めた』（企業）

商業事業所数が約2倍に増加



第3次産業従業者数が約4倍に増加



ストック効果

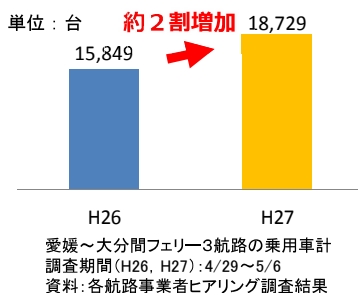
九州東岸の 観光・産業を支援する東九州道



before >>> after



東九州道の整備により、魅力ある観光資源が身近になり、GW期間中の愛媛⇄大分間のフェリーの乗用車利用台数が約2割増加

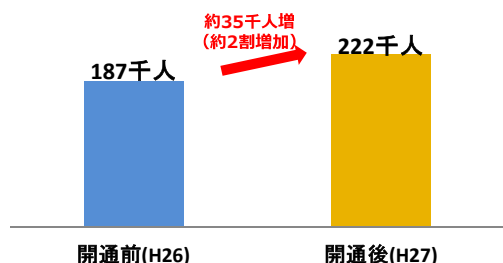


▲延岡市からの時間距離の変化

※所要時間は、大分市役所から佐伯IC、佐伯ICから宮崎市役所間の時間を整理
短縮時間は未整備時(S63年当時)から開通後(H26年度末)の時間差

宮崎県主要観光地(11施設)の入り込み客数

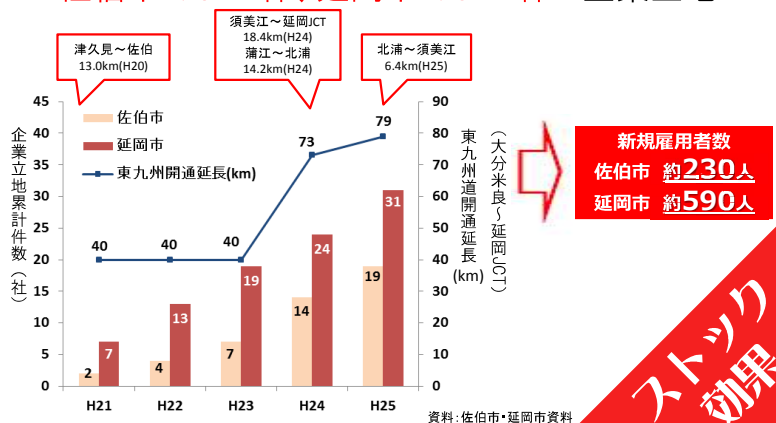
GW期間中の、観光施設等の入り込み客数が宮崎県で約2割増加



施設管理者ヒアリング調査結果
調査日: [開通前]H26.5.3(土)～H26.5.6(火)
[開通後]H27.5.3(日)～H27.5.6(水)

佐伯市・延岡市における企業立地件数

東九州道の整備を見越し、過去5年間で佐伯市では19件、延岡市では31件の企業立地



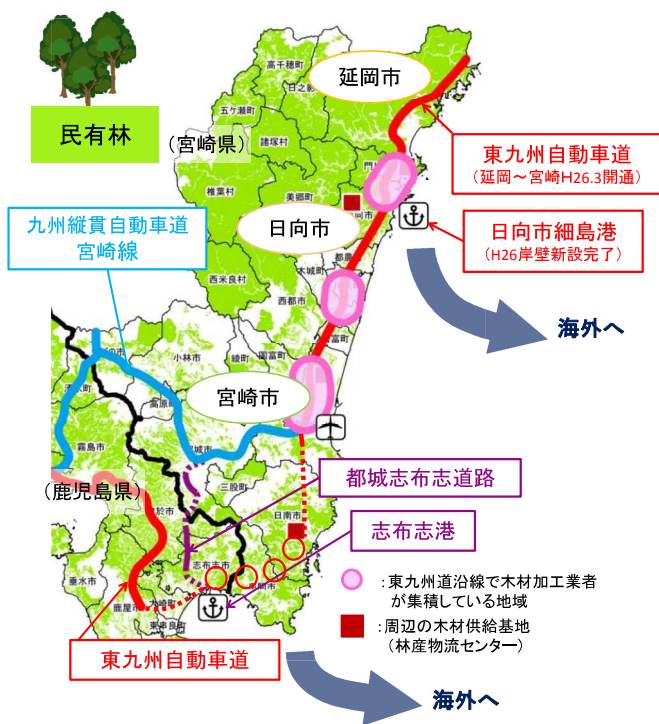
ストック効果

林業再生！

つなぐ、ひろがる、輸出商機！

細島港・東九州自動車道・
志布志港・都城志布志道路(宮崎県・鹿児島県)

Before >>> After



地域の木材が輸出産業化

- 細島港や東九州自動車道整備の進展により、**大手製材メーカーが進出**
- 地域の木材を輸出する新規ビジネスにより**国産材輸出量が急増し、林業が再生**
- 経済成長の続く中国をはじめとしたアジア諸国の需要拡大を受け、木材の産地に近い南九州の主要港から**輸出が急激に増加**

木材を港湾から海外
(中国、台湾等)に輸出！！

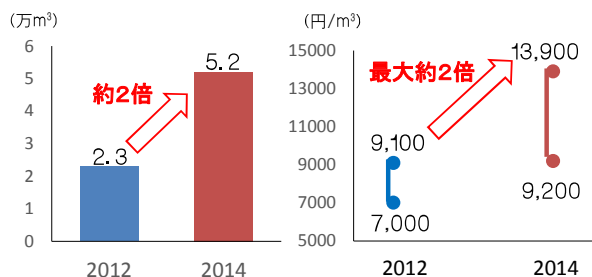


直近10年間の細島港周辺の経済効果

企業立地	設備投資	貿易額
39件	約740億円	約2倍増

■ 木材輸出量増加

■ 木材価格の上昇 (宮崎県: スギ)



国産材輸出により林業再生、雇用増加

九州主要港の木材輸出の推移



ストック効果

川内川改修事業(鹿児島県)